

003

## サッカーを楽しみながら 防災について学べる サッカー防災®ディフェンス・アクション

取組主体

株式会社 HITOTOWA

従業員数

想定災害

実施地域

17人

全般

全国

・サッカー防災®ディフェンス・アクションを実施し、普段、防災に取り組む機会が少ない子育て世代や子どもにサッカーを楽しみながら防災について学べる機会を提供している。

### 1 取組の概要

#### 災害によって亡くなる人をゼロにする

・「災害によって亡くなる人をゼロにする」を目標として防災事業に取り組む株式会社 HITOTOWA は、スポーツを通じて防災等の社会課題の解決を目指して、「サッカー防災®ディフェンス・アクション」を実施。普段、防災について学ぶ機会が少ない子育て世代や子どもにサッカーを楽しみながら防災について学べる機会を提供している。

#### サッカーを楽しみながら防災について学ぶ

・サッカー防災®ディフェンス・アクションには、「ファースト・アクション」・「パス・ストック」等、サッカーを楽しみながら、防災について学べるプログラムが用意されている。たとえば、ファースト・アクションでは、ウォーミングアップのためのジョギング中に笛が鳴り災害が記載されたパネルが掲げられると、その災害が実際に発生したときに身の安全を確保するために最初に必要となる行動を取る。地震なら、（机やテーブルの下に入るなどを想定し）頭や目を保護しながらうずくまる。火災なら、（煙を吸わないように）口と鼻を塞いで、身を低くして外に逃げる等である。



パス・ストック:備蓄品リストを見る様子

・また、パス・ストックでは、配られたリストを基に災害に備えるための備蓄品を覚えた後、パスの練習を行う。パスの練習では、覚えた備蓄品を大きな声で1つ言ってからパスをする。

・このようなサッカー防災®ディフェンス・アクションは、東京都・神奈川県・千葉県等首都圏を中心に、静岡県・愛知県・兵庫県・広島県・福岡県・大分県等で行政が実施している防災イベントや総合防災訓練等において実施されている。

### 2 取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

・防災に携わる方々から「地域の防災訓練に参加してくれる若い人が少ない」という声をよく聞いていた。しかし、調べてみると、若い世代でも、子育て等で忙しいものの、防災への関心は高いことがわかった。そこで、親子でサッカーを楽しみながら、防災について学ぶことができないかと考え、サッカー防災®ディフェンス・アクションを企画した。ただ、防災は人の命が関わっているため、楽しいだけではなく、しっかり防災について学べるようにプログラムを工夫した。



イベント集合写真

・元サッカー日本代表選手、地元Jクラブの選手・OB等にゲストとして参加してもらい、保護者や子どもの参加意欲を高めるように工夫している。よくゲストに来てくださる方の「サッカーと防災の共通点は準備と協力である」というメッセージはアンケートからも参加者の心にしっかりと届いていると感じている。

### 3 取組の効果

- ・2021年11月～2022年11月にかけてサッカー防災@ディフェンス・アクションの参加者に実施したアンケート調査によれば、防災意識を大きく高めることができた。たとえば、防災についての意識が、参加前は、「とても高い」「高い」の合計が11%にすぎなかったが、参加後は、「とても高い」「高い」の合計が88%にまで向上した。

### 4 取組への想い

- ・「災害によって亡くなる人をゼロにする」という目的を実現するためには、できる限り多くの人に必要最低限の防災に関する知識を持ってもらう必要がある。
- ・この点に関して、これまでの活動を通じ、防災に関する知識が必要ないと思っている人はほとんどおらず、ただ、それについて知るきっかけがないだけであり実感している。
- ・そこで、そのような人に寄り添い、そのような人に届く言葉、場所、方法で、防災に関する知識を伝え、災害時の不幸を少しでも減らしていくことに貢献していきたいと思っている。

### 5 防災・減災以外の効果

- ・一緒に防災の企画を進めている方の中には、最初は全く防災に興味がなかった方も多い。しかし、一緒に防災の企画を進めていくうちに、防災に対する意識が変わり、企画を通じて学んだことを他の人に教えている、伝えていと聞いたときには、嬉しい気持ちになった。

### 6 現状の課題・今後の展開等

- ・防災についてさまざまな人がさまざまな取り組みをおこなっている。しかし、街や個人の防災力を真に高めていくためには、それらの取り組みを有機的に結合させていくことが必要である。
- ・今後、それぞれがそれぞれに取り組んでいる防災の取組について横の連携を図り、みんなで一緒に街や個人の防災力を高めるために進んでいきたい。

### 7 周囲の声

- ・「サッカーも防災も起こったときにすぐ行動できるように日頃の準備、練習が必要だ。」（参加者）
- ・「サッカーも防災も、事前に準備をし、いざというときに無意識に体が動くようにすることが大切だ、というゲストの言葉が印象に残った。」（参加者）
- ・「スポーツが絡むことで、子ども達がより身近に防災を感じられることができ良かったと思う。スポーツを入りに防災を学ぶことができるのはとても素晴らしいことだ。」（参加者）

#### 担当者の声

- ・私達が、サッカー防災@ディフェンス・アクションを実施する際に、大切にしていることが2つある。
- ・1つは、サッカー防災@ディフェンス・アクションの体験を通じて、「防災って楽しいかも」と感じていただくこと、そして、その後の防災の取組について背中を押すことである。「大事だからやらなきゃ」という理由で防災を始める人がいてもいいと思うし、一方で「楽しいから防災やりたい」と思って防災に取り組む人が増えることも同じぐらい大切だと考えている。
- ・そして、もう1つは、何のための防災か気づいてもらうことである。「防災によって守りたいものは何ですか?」と尋ねると、99%の方が「家族や子ども」と答えられる。防災は大切な何かを守るためのものであることに気づいてもらうことで、防災に取り組む重要性を改めて意識してもらえると考えている。
- ・もし、このような私達の思いに共感していただける方がいらっしゃるなら、ぜひ一緒に取り組みを進めていきたいと思っている。

#### 問合せ先

株式会社 HITOTOWA  
E-Mail : [info@hitotowa.jp](mailto:info@hitotowa.jp)  
URL : <https://hitotowa.jp>

#### 動画



#### サイト URL

